

# イエスが祈られた「主の祈り」

京都伝道区婦人会 秋の修養会

2024年10月22日（火） 京都聖ヨハネ教会

司祭 ヨハネ 井田 泉

## 【願い】

1. イエスが祈っておられたし、今も祈っておられる。それを感じたい。
2. 祈ることをイエスに学び（主の祈り）、イエスとともに祈る者になりたい。
3. イエスの祈りに励まされつつ、イエスとともに神の国のために働く者になりたい。

（以下の番号は聖句引用の通し番号）

## 講話Ⅰ イエスは祈っておられた

### 1. 朝早く

「朝早くまだ暗いうちに、イエスは起きて、人里離れた所へ出て行き、そこで祈っておられた。」 マルコ 1:35

### 2. 十二人を選ぶとき

「そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈って夜を明かされた。朝になると[彼の]弟子たちを呼び集め、その中から十二人を選んで使徒と名付けられた。」

ルカ 6:12-13

### 3. ペテロの信仰告白の前に

「イエスがひとりで祈っておられたとき、弟子たちは共にいた。そこでイエスは、『群衆は、わたしのことを何者だと言っているか』とお尋ねになった。」 ルカ 9:18

### 4. 山の上で（変容）

「この話をしてから八日ほどたったとき、イエスは、ペトロ、ヨハネ、およびヤコブを連れて、祈るために山に登られた。祈っておられるうちに、イエスの顔の様子が変わり、服は真っ白に輝いた。」 ルカ 9:28-29

## （黙想）

- ・イエスが祈っておられる場面を思い、その光景を想像し、イエスの祈りを感じたい。
- ・イエスは世界のためにも、教会のためにも、わたしのためにも祈っておられる。
- ・イエスは礼拝の前に、祈りつつわたしたちを待っておられる。

## 講話Ⅱ イエスはわたしたちに祈ることを教えてください（主の祈り）

### 5. 弟子の求めに答えて「主の祈り」を教える

「イエスはある所で祈っておられた。祈りが終わると、弟子の一人がイエスに、『主よ、ヨハネが弟子たちに教えたように、わたしたちにも祈りを教えてください』と言った。そこで、イエスは言われた。『祈るときには、こう言いなさい。“父よ、御名が崇められますように。……”』』 ルカ 11:1-2（マタイ 6:5 以下参照）

※「主の祈り」はイエスが祈っておられた祈り。「主の祈り」を祈ることによってわたしたちはイエスの祈りに招き入れられ、イエスの祈りに加わる。

#### 主の祈りの概要

- 1 【呼びかけ】 天におられるわたしたちの父よ、
- 2 【祈願】 (1) 神に関する祈願（祈り）前半 3 つ
  - み名が聖とされますように。
  - み国が来ますように。
  - みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。(2) わたしたちに関する祈願（祈り）後半 3 つ
  - わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。
  - わたしたちの罪をおゆるしくください。わたしたちも人をゆるします。
  - わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。
- 3 【頌栄（賛美）】 国と力と栄光は、永遠にあなたのものです **アーメン**

### 6. 日ごとの糧を——飢え

「そのころ、ある安息日にイエスは麦畑を通られた。弟子たちは空腹になったので、麦の穂を摘んで食べ始めた。」 マタイ 12:1

※イエスと弟子たちは飢えを経験された。

### 7. 誘惑に陥らせず——40 日間、荒野で

「“霊” はイエスを荒野に送り出した。イエスは四十日間そこにとどまり、サタンから誘惑を受けられた。」 マルコ 1:12-13

※この誘惑の時、イエスは死ぬ思いで祈られたに違いない。

### 8. み名が聖と——過越祭の前（受難の前）の恐れ

「今、わたしは心騒ぐ。何と言おうか。『父よ、わたしをこの時から救ってください』

と言おうか。しかし、わたしはまさにこの時のために来たのだ。父よ、御名の栄光を現してください。」 ヨハネ 12:27

(黙想)

- ・ 主の祈りを、イエスは自分の生涯、ある状況の中で祈っておられたことを思いみる。
- ・ わたしたちの生活の中で主の祈りを具体的に祈るようになっていきたい。

### 講話Ⅲ イエスはわたしたちのために祈ってくださる

#### 9. 誘惑と悪からの守り——最後の晚餐

「シモン、シモン、サタンはあなたがたを、小麦のようにふるいにかけることを神に願って聞き入れられた。しかし、わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った」 ルカ 22:31-32

「わたしがお願いするのは、彼らを世から取り去ることではなく、悪い者から守ってくださることです。」 ヨハネ 17:15

#### 10. 赦し——十字架

「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです。」 ルカ 23:34

### 【主の祈りの最初と最後】

(1) 父よ——神への呼びかけ (すでに上記 8、10 にもあった)

#### 11. 賛美——幼い者の中に神の業を見たとき

「天地の主である父よ、あなたをほめたたえます。これらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、幼子 [のような者=不要] にお示しになりました。」 ルカ 10:21 (マタイ 11:25)

#### 12. ゲツセマネで

「アッバ、父よ、あなたは何でもおできになります。この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしが願うことではなく、御心に適うこと [あなたが欲すること]が行われますように。」 マルコ 14:36

※主の祈りの第 3 の祈り (みこころの実現) の極限。

(2) アーメン

「アーメン」は、イエスの言葉としては見当たらないかに見える。  
ところがギリシア語原文を見ると、イエスの言葉には「アーメン」が非常に多い。

13. 「はっきり言うておく。信じる者は永遠の命を得ている。」ヨハネ 6:47

**Ἀμήν ἄμήν λέγω ὑμῖν**

アーメン アーメン 言う あなたがたに

14. 「はっきり言うておく。わたしを信じる者は、わたしが行う業を行う。」ヨハネ 14:12

※イエスは繰り返し「アーメン」と言われた。ギリシア語聖書で数えると、福音書だけで 101 回 (76 節) 出てくる。それだけイエスは繰り返し「アーメン」と言って弟子たちに強く訴えかけられた。

※イエスはわたしたちとともに祈られると同時に、わたしたちに対して「アーメン」と言って約束を与え、わたしたちを励まされる。

(黙想・まとめ)

- ・「信じる者は永遠の命を得ている」「わたしを信じる者は、わたしが行う業を行う」とイエスは言われた。この二つのことを大切に心にとめていよう。この約束は「主の祈り」を祈り深めることによって確かなものとなっていく。こうしてわたしたちはイエスとともに神の国の実現のために祈り、働く者とされていく。

#### イエスの生涯における祈り

- ① 荒野で (誘惑のとき) マルコ 1:13
- ② 朝早く マルコ 1:35
- ③ 十二人を選ぶとき ルカ 6:12
- ④ 困難を抱えた人を前にして (耳が聞こえず舌の回らない人) マルコ 7:34
- ⑤ 5000 人 (以上) の前で マルコ 6:41
- ⑥ ペトロの信仰告白の前に ルカ 9:18
- ⑦ 山の上で (変容) ルカ 9:28-
- ⑧ 幼い者の中に神の業を見たとき ルカ 10:21 (マタイ 11:25)
- ⑨ 弟子の求めに答えて「主の祈り」を教える ルカ 11:1-4 (マタイ 6:5-13)
- ⑩ 過越祭の前 (受難の前) ヨハネ 12:27
- ⑪ 最後の晩餐で ルカ 22:31-32 ヨハネ 17:15
- ⑫ ゲッセマネで マルコ 14:36
- ⑬ 十字架の上で ルカ 23:34 ほか
- ⑭ 昇天に際して ルカ 24:50-51